

各 位

上場会社名 株式会社 妙徳
 代表者 代表取締役社長 中森俊雄
 (コード番号 6265)
 問合せ先責任者 常務取締役 吉田清輝
 (TEL 03-3759-1491)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,608	160	162	84	10.51
今回発表予想(B)	2,380	145	135	73	9.22
増減額(B-A)	△228	△15	△27	△11	——
増減率(%)	△8.7	△9.4	△16.7	△13.1	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	3,020	456	440	238	29.74

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,457	155	163	88	11.05
今回発表予想(B)	2,197	116	127	70	8.75
増減額(B-A)	△260	△39	△36	△18	——
増減率(%)	△10.6	△25.2	△22.1	△20.5	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	2,880	399	415	227	28.40

修正の理由

当社は、昨年夏以降の景気後退による民間設備投資の急激な冷え込みを要因に、昨年10月28日付で業績予想の修正を行いました。

しかしながら、サブプライムローン問題に端を発した米国発金融危機が世界に波及し後半には金融収縮が实体经济に深刻な影響を与え、急速な円高の進行が追い討ちをかけ、需要の減退に拍車をかける悪循環に陥り、企業を取り巻く環境は深刻さを深めました。当業界におきましても、民間設備投資は停滞し、生産・在庫の大幅な調整による需要の減退により、空気圧機器市場が縮小、当社の主力製品である真空機器及び関連製品は、直接的な影響を受け続け、前回予想の達成が困難な状況となっております。

(1)売上高の見通し

前述の通り、本年度の設備投資の停滞並びに需要の減退による市場の縮小の影響を受け、連結売上高は前回予想2,608百万円を228百万円下回り、2,380百万円となる見通しであります。

(2)利益の見通し

このような環境下で、当社は急激な需要の減退に対応し、生産面では、需要に対応した生産体制の再構築を行うと共に、素材の国際調達の推進、アウトソーシングの活用等迅速に対応しました。販売面では、営業所の統廃合及び業務の集約化策により固定費を削減しました。また、昨年11月より役員報酬のカット(20%)、本年1月より従業員の労働時間短縮の実施(1h～1.5h)等による人件費の圧縮をはかり、損益分岐点の引き下げに取り組みましたが、売上減少による営業利益の悪化により、連結当期純利益は前回予想84百万円を11百万円下回り、73百万円となる見通しであります。

個別業績予想についても同様により、業績予想の修正を致します。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績などは、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上